

# 晴田の息吹 vol. 2



平成27年 7月 6日 No. 7 校長 池上

## フリー参観デー では、運動場が車で満杯に！

今年のフリー参観デー(6月14日)では、授業参観の他に、①6年生と保護者対象の「情報モラル講演会」、②人権教室(全校)、③2,4,5年の親子ふれあい活動、④学校評議員会と、たくさんの行事が重なったこともあり、のべ530名もの保護者・地域の方にお出でいただきました。駐車場に開放している運動場は、来校者の車で満杯です。



授業については、当日のアンケートで地域の方から「全体的に静かで落ち着いた雰囲気の中で行われていた。ひとり一人の児童が、集中した態度で先生の話聞いていた。」という言葉もいただきました。

体育館での人権教室(全校)では、職員が寸劇を交えながら人権の大切さ、自分が自分らしく生きるために大切にしていかなければならないことを指導しました。人権教室の最後には、子どもたちに感想(気づき)を発表してもらいましたが、たくさんの子が手を上げて発表してくれたので、例年以上に考えさせることが出来たのではないかと感じています。

## 後藤政幸さんから「ちぎり絵」のプレゼント



この度、岐阜県在住の手作り絵本作家、後藤政幸さんから「ちぎり絵」を寄贈していただきました。広用紙2枚分もの大きな作品です。後藤さんは、交通事故で左足を切断することになり、そのことから、「生きる」ということについて深く考えるようになったということです。現在はその体験を多くの人に伝えようと、手作り絵本『だいじょうぶ だいじょうぶ みんな大好きだから』を手にして、講演活動を続けていらっしやいます。

晴田小学校にも昨年の7月に来校され、5年生の子どもたちと交流をもっていただきました。その時は、いじめの事や、ちくちく言葉について、そして、思いやりをもって仲良くしていく事が自分にとって、もすごく大切なことなんだということをお話合いただきました。また、全校の子どもたちには昨年の12月の人権集会で、絵本『だいじょうぶ だいじょうぶ みんな大好きだから』を、職員がスライドに合わせて読み聞かせをしています。片足をなくしたり、耳が聞こえなかったり、目が見えなかったりしている人に、「だいじょうぶ だいじょうぶ、僕があなたの足になったり、耳になったり、目になったりするから、みんなで楽しく遊ぼうよ。」と、優しく声をかけてくれる素敵な絵本でした。

そのようなことから晴田小を気に入っていただき、今回の寄贈に至ったということです。この「ちぎり絵」は、晴田小の子どもたちをモチーフにした作品で、東京国立美術館や東京美術館での美術展にて、芸術功労賞や金賞を受賞したものです。

これから本校の玄関に設置しますので、ご来校の際は、是非、作品からあふれ出る「思いやりの心」を味わっていただきたいと思います。

後藤政幸さん、本当にありがとうございました。

